

放課後等デイサービス 夢門塾磯子 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾磯子

公表日

2026年 1月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・部屋の用途を分けている	スペースについては、引き続き適切に確保していくよう努める。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・配置を固定せず臨機応変な対応を心がけている	より安定した支援体制となるよう、人員の補充を検討してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・動線や目線など子どもから見える位置を考慮している	入口に階段（段差）があるため、補助が必要な児童の入退室に課題があることから、今後は安全かつ円滑に利用できるよう対応方法の検討を進めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・玩具なども含め清掃を行っている	活動と学習のバランスについて、引き続き検討してまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・状況に応じて、部屋を分けて使用している	個室の活用方法について検討し、より効果的に利用できるよう努めてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	・目標設定はないが、日常の業務で感じたことは積極的に改善している	人員確保は継続課題として取り組んでまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・機会の有無に関わらず、保護者様等の意向は職員間で共有している	実践できていない部分の見直しと改善に努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	・機会の有無に限らず、常に共有している	教室内ミーティングを取り入れ、情報共有の充実を努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		現状では定期的な取り組みは行えていませんが、第三者や訪問者からいただいたご指摘やアドバイスについては、改善に努めてまいります。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・研修が都度実施されている	家庭都合等で参加が難しい場合もありますが、職員間で情報を共有し、支援に支障が出ないよう対応してまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・WAMNETに掲載している	今後も継続して丁寧に取り組んでまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・児童および保護者様それぞれと面談の機会を設け、ニーズの把握に努めるとともに、その内容を支援計画に反映できるよう取り組んでいる	引き続き計画作成を行ってまいります。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・職員で一人一人の振り返りを行っている ・支援に関わる職員が意見交換をする場を設けている	個人情報の取扱いについては、引き続き慎重に対応し、適切な管理に努めてまいります。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・サインをいただいた後、職員間で共有および確認を行っている	引き続き取り組みを継続してまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	2	・記録を付けて共有している	子どもに対して定型的な尺度のみで評価・支援を行うことが適切でない場合もあると考えられるため、個々の状況に応じた支援方法について検討を進めてまいります。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・支援内容を設定している	保護者様に十分に伝わっていない部分があったため、今後はより丁寧な説明を行い、ご理解を得られるよう努めてまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・チームで活動予定を決めている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・言語・数・SST・運動と分野を均等にしている	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・集団生活でも、個も尊重するようにしている	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝と昼のタイミングでミーティングを行い、その日の予定や動きを確認している	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・共有は徹底している	その日のうちに共有できない場合もありますが、引き続き職員間で情報共有に努めてまいります。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・気づいたときにはメモなどを取り、共有することに努めている	引き続き状況を注視し、必要に応じて適切な対応を行ってまいります。
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2	・更新時期を守り、取り組んでいる		
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	1	・1日の活動の支援の中に取り入れるようにしている	外部（地域）との交流機会を増やし、児童がさまざまな人や環境に触れられるよう努めてまいります。	
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	・「どうしたい？」と自分で考えられるような声掛けを意識している	お子様によっては、指導の意図が『叱られた』と受け止められてしまう場合もあるため、伝え方や対応方法について工夫し、理解につなげられるよう努めてまいります。	
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	・該当事例は少ないが児発管に参加してもらっている	引き続きシフトを調整し、職員が参加できるよう努めてまいります。	
27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3	・関係医療機関と提携を行っている		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・コドモン、電話で対応している ・情報収集に努め自らも発信している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		事例が発生した際に速やかに対応できるよう、あらかじめ準備と体制の整備に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3		就労への移行があった際には、関係機関と情報を共有し、円滑な移行につなげていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3		児童発達支援センターの研修や講座に職員が参加できるよう調整し、知識や技能の向上を図る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこともと活動する機会があるか。	2	4		機会があれば、検討して取り入れてまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	・スケジュールを調整して参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・お会い出来なかった保護者様にはお電話やコドモンの連絡帳にてお伝えしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		現状では一部のニーズに十分にお応えできていないため、横浜市主催の研修等に参加し、保護者様に寄り添った支援の提供に努めてまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1	・現行から変更があった箇所については、送迎時やお電話、コドモンにてご説明させていただいている	保護者様に十分に伝わっていない部分もあるため、今後はより丁寧な説明を行い、理解を深められるよう努めてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	1	・児童・保護者様それぞれに個別に面談を設定している	
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・保護者の方に計画案を提示し、確認、同意を得た上で承諾のサインをいただいている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1		現時点では十分に実施できていないため、知識・技能の向上に努め、継続的に学びながら実践につなげてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4		現時点では実施できておらず、ニーズも確認できていない状況ですが、今後は保護者様の意向も踏まえ、父母会の開催について検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・苦情解決の体制を整備し、マニュアルを遵守し適切に対応を行っている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・ブログや夢だより（夢通信）にて発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・十分に注意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・その子に合った発信方法などを一緒に考えて取り組んでいる	個人情報保護の観点から現状では実施していませんが、今後も適切な管理と運用に努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		現状は実施していませんが、今後検討してまいります。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	・訓練時に同じ設定の繰り返しではなく、事前に複数の想定される事態を検討している	開示可能な範囲を適切に判断しながら、情報提供とのバランスを図り、適切な対応に努めてまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・お子さまにも分かりやすいよう、ICTを活用した訓練を実施している	
非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・と業表にご記入いただき、投薬手順などを確認している	保護者様にご理解いただけるよう、引き続き丁寧な説明と取り組みを継続してまいります。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・食品を外すように心がけている ・お子さんと一緒に確認しながら行っている	おやつ等の提供時など、その都度お子様と確認を行っているため、引き続き個々の状況に応じた対応を継続してまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		取り組みは行っているものの、ご家庭への周知が十分でないため、今後は連絡帳やブログに加え、動画等も活用し、内容を分かりやすく確認していただける機会の設定に努めてまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		取り組みは行っているものの、ご家庭への周知が十分でないため、今後は面談等で来所された際に説明の機会を設け、理解を深めていただけるよう努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・記録に残し取り組んでいる	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・研修等には参加しており、当日参加できなかった職員に対しては後日資料を共有し、内容の周知を図っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	・契約時に説明を行うとともに、身体拘束を行った際には状況を記録し、該当する児童の保護者様へ適切に報告を行っている	
	保護者様評価、自己評価についてまとめ					
<p>・水回りなどの衛生面や、避難経路を含めた安全面への説明機会が少なく、ご家庭からの確認や周知が足りない面もあったため、今後はしっかりご説明をさせていただけるよう努めていく</p> <p>・避難訓練に関しては実際の取り組みを動画などで残しておき、面談時などで一緒に視聴いただけるようにするなど検討していく</p>						